

## 相愛大学研究シーズ集

シーズ名	維持血液透析患者の良好な予後とQOL向上のための食事指導に関する研究
所 属	人間発達学部 管理栄養学科
氏 名	竹山 育子
<p>【概要】</p> <p>食事指導の目的は、合併症の予防と生存率向上のためであるが、画一的な指導により食事指導そのものがQOLの低下を招いている。食事指導に患者の生活、家族構成、身体状況を考慮した食事指導を取り入れることにより、患者に食事療法が受け入れられ、良好な予後、QOLの向上が得られると考える。市販食品を利用した食事療法は、調理困難等の理由により食事療法をあきらめてしまっている場合やほとんど調理をしない単身患者が、食事療法に再度取り組むためのきっかけとなることが期待できる。今回、維持血液透析患者に市販食品を利用した食事指導を取り入れることにより、良好な予後、QOLの向上を図ることを目的とする。</p>	
キーワード	血液透析/長期透析/GNRI/KDQOL